

動物園条例制定に向け検討しています!

令和元年10月から、専門家や市民が参加する動物園条例検討部会で動物園の運営に関する条例について検討しています。その検討状況などをご紹介します。

講演会「未来のまちに動物園を残そう！」

2019年11月1日(金)
10:00~11:30に開催

動物園が行うべきことや、動物園の基盤である飼育動物のケアなどを規定する法制度の必要性について、法律や動物園の専門家たちが話し合いました。

第1部 基調講演

「我が国の動物園政策の新たな地平を開く
—円山動物園の挑戦—
神奈川大学 諸坂 佐利氏

第2部 パネルディスカッション



左から加藤 修(司会、円山動物園)、伊勢 伸哉氏(おたる水族館)、小菅 正夫(札幌市環境局)、諸坂 佐利氏(神奈川大学)

参加者からの主な意見(抜粋)

動物園のあり方を定める等方向づけや位置づけを統一させるためには必要。だが環境の整っていない施設にとっては管理面で維持できないかもしれないから。

動物園という存在そのものの曖昧さにびっくりするとともに、これからの動物園の理念を守るためにも条例は必要と考える。

今まで曖昧だった事が不思議、条例を制定するためのハードルは何なのか知りたい。

動物(人間を含む)・地球・生命を考えることのできる動物園にしてほしい。

北海道を代表する動物園としての存在価値を今後一層高めてほしい。

動物にとってより良い環境づくりを継続してほしい。

「福祉」と「愛護」の話聞いて、生物学、獣医学などの化学的研究だけでなく文化人類学などの質的研究も役に立っている部分があると思った。

講演会「みんなが支える動物園～保全活動は誰のため?～」

2020年9月21日(月・祝)
13:00~16:00に開催

『動物園を支える仕組み』の必要性をテーマに、「動物園に求められてきたことってなに?」「生物多様性ってなに?」「生物多様性の保全活動って誰のためになるの?」といった疑問について、動物園の専門家たちが話し合いました。

第1部 基調講演「いい動物園って何だろう?」

帝京科学大学 佐渡友 陽一氏

第2部 事例紹介

「円山動物園の野生動物の調査及び研究」
円山動物園 加藤 修

第3部 パネルディスカッション

「動物園を支えるとは?」



左から小菅 正夫(札幌市環境局)、佐渡友 陽一(帝京科学大学)、加藤 修(円山動物園)、須永 絵美(司会、円山動物園)

参加者からの主な意見(抜粋)

動物園によく来ていたが、オリの中にある動物たちがかわいそうという思いがどこかにありました。本日の講演会に参加し、動物園のあり方や役割を学び、少し考えが変わった気がする。

円山生まれのニホンザリガニが広まることを望んでいる。“動物と対等に付き合う”との言葉が印象的だった。動物福祉の維持の大切さこれがベースと理解できました。

レジャーやデートスポットくらいしか意識がなく反省した。

動物園条例の検討について関与できる市民の数を増やしてほしい。

貴重な話が聴けて動物園のあり方を考える参考になった。今日は利用者にとっての「良い動物園」という内容が強いかと思ったので、動物にとって「良い動物園」の実現についての話も聴きたいと思った。動物園を支える為に自分に何が出来るのか知りたい。